

令和7年度分 県に対する措置要望事項概要

<重点要望事項>

No.	要望項目	県所管部	要望概要
1	【新規】 企業情報掲載サイト 「WORKWORKとちぎ」 の求人掲載数の拡大 について	産業労働 観光部	<p>移住支援金の対象求人などを掲載する「WORKWORKとちぎ」については、新規求人件数が着実に増加しているものの「第2期とちぎ創生15(いちご)戦略」における、令和4年度の目標を下回るとともに、サイト内の求人情報を見ると、今後の少子化対策や超高齢社会への対応などにおいて重要となる「保育」や「医療・福祉」などの業種において、求人件数が限定的であるなどの状況にある。</p> <p>今後、さらなる移住定住の促進や栃木県全体の雇用の確保、多様な人材獲得のためにも、地域企業に対して、「WORKWORKとちぎ」への求人登録の周知強化を図ることで、移住支援金対象求人を含む求人件数の拡大に向けた取組の強化が図られるよう要望するもの</p>
2	G7大臣会合開催を 契機とした国際会議 等のMICE推進の強化 について	産業労働 観光部	<p>本市においては、コンベンション開催支援補助制度の新設や日光市と連携したMICE開催プランの提供など、MICE誘致を着実に進めているところであるが、先進市においては、県と市双方から支援が受けられる体制となっており、開催市単独の支援では競争力が低くなっている状況にあることから、県内で開催されるコンベンションに対する支援制度の創設を要望するもの</p> <p>また、国際会議や大規模MICEの誘致・受入にあたっては、県内市町が一丸となって取り組む必要があることから、県の主導により、県内各地の魅力を向上させる取組の推進及びMICE誘致・受入に向けた県内市町の連携体制の構築を要望するもの</p>
3	高次都市機能誘導区 域への機能導入等 に対する支援・協力に ついて	総合政策部 県土整備部	<p>県の「とちぎの都市ビジョン」においては、持続可能な多核ネットワーク型都市構造の実現を目指し、広域的な公共交通ネットワークの結節する広域拠点地区への、高度で多様な都市機能の集積や交通結節機能の強化を図ることとしている。</p> <p>広域拠点地区でもある本市高次都市機能誘導区域への多様で高次な都市機能の導入や交通結節点等における基盤整備については、多核ネットワーク型都市構造の実現につながることから、県においても本市高次都市機能誘導区域内における県都の顔にふさわしい賑わい創出につながる文化・情報・交流機能などの多様な都市機能の導入の検討を要望するもの</p> <p>また、大通りやJR宇都宮駅西口周辺地区における、市街地再開発事業などへの事業費の支援や道路と沿道の一体的な活用に向けた技術的な助言など県独自の支援・協力を要望するもの</p>
4	一級河川の改修につ いて	県土整備部	<p>令和元年東日本台風による田川・姿川流域における浸水被害など、近年の集中豪雨や台風による大雨により、宇都宮市内及び周辺地域において、河川のいっ水による住宅への浸水などの被害が生じている。県においては、いっ水被害の解消に向け、田川については整備の見通しが明らかになったところであることから、姿川の河川改修の重点的かつ着実な整備を要望するもの</p>

No.	要望項目	県所管部	要望概要
5	流域治水の推進に関する継続的な支援について	県土整備部	<p>SSCの実現に向け、災害に強く、安全でコンパクトなまちづくりを、国の流域治水の考え方を踏まえた「宇都宮市総合治水・雨水対策推進計画」や「宇都宮市立地適正化計画」に基づき、様々な施策を官民一体となって進めているところである。</p> <p>このような中、市域全体における水災害の早期解消に向け、最も重要で確実な対策である河川の整備を進めているが、これらには多額の費用と時間を要することが見込まれている。</p> <p>国においては、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策（令和3年～7年度）」に基づき、補助金や緊急自然災害防止対策債などにより支援をいただいているところであるが、期間に限りがあることから、効果的な河川整備を加速化させるため、整備に必要となる財源の確保と措置期間の延長が図られるよう、国に対する働きかけを要望するもの</p>
6	LRT整備に関する支援について	県土整備部	<p>優先整備区間であるJR宇都宮駅東側については令和5年8月26日に開業を迎え、多くの方に利用いただき、日常の公共交通として定着しつつあるところであり、JR宇都宮駅西側については令和4年8月に整備区間を決定し、事業化に向けた具体的な検討を進めている。</p> <p>県においては、県民理解の促進を図っていただくとともに、「栃木県次世代型路面電車システム整備事業支援基金」の設置による財政支援や技術的支援をいただいているところであるが、引き続き、JR宇都宮駅東側LRTの安定した運行確保に向け、継続した指導・助言をいただくとともに、現在、検討を進めているJR宇都宮駅西側への延伸についても、JR宇都宮駅東側の整備と同様の支援を要望するもの</p>

<要望事項>

No.	要望項目	県所管部	要望概要
7	歯科衛生士の養成・確保に関する支援措置について	保健福祉部	健康寿命の延伸を図るための歯科疾患の予防を推進するため、歯科衛生士の必要性が増大している中、歯科衛生士が慢性的に不足している状況が続いていることから、地域医療に貢献できる質の高い歯科衛生士の域内での養成や確保に向けた取組は、喫緊の課題である。 このことから、歯科衛生士の養成・確保に向け、看護職と同様の修学資金の貸与制度の創設など、学びやすい環境の整備に向けた支援措置を要望するもの
8	児童相談所の設置に向けた支援について	保健福祉部	本市においては、児童相談所の設置について検討を進めており、今年度は「児童相談所に係る栃木県・宇都宮市の連携推進会議」を設置するとともに、本市職員を栃木県中央児童相談所に派遣するなど、相互に連携する体制を構築している。 こうした中、児童相談所の設置にあたっては、現場で相談・支援に当たる心理職・福祉職等の専門職の確保・育成が大きな課題と考えていることから、人事交流の拡大や研修等の実施など、児童相談所設置に向けて、より一層の支援を要望するもの
9	「栃木県生活バス路線維持費補助金」の補助要件の見直しについて	県土整備部	路線バス事業者においては、利用者数の低下や慢性的な運転手不足、燃料費の高騰に加え、運転手の労働時間の規制が強化される2024年問題への対応などにより、収益の確保が厳しい状況におかれている。 県の「生活バス路線維持費補助金」において、「1日あたりの運行回数が10回以下」の補助要件により、一部の路線で運行頻度を抑制している事例が見受けられるなど、市民や県民の日常生活に欠かすことのできない路線が支援されていない現状にあることから、運行回数の要件を緩和するなど要件の見直しを要望するもの
10	住宅等の部分改修及び耐震シェルター等設置に対する支援措置について	県土整備部	地震による建築物の倒壊被害から住民の生命や財産を守るため、大規模地震への備えがより一層必要となっていることから、国においては、住宅等の部分改修や耐震シェルターのほか、通学路のブロック塀等に対する自治体の支援制度に対し、補助を行っているところであるが、県においては、住宅改修や耐震シェルター、通学路のブロック塀等への財政的支援がない状況にある。 今後、県内各市が部分改修等を含めた住宅の耐震化や耐震シェルター、通学路のブロック塀等の設置をより一層促進できるよう、国と同様に県においても補助対象となるよう要望するもの
11	急傾斜地の整備について	県土整備部	豪雨等による急傾斜地の崩壊を防ぐため、上大曾町や埴田1丁目などの10箇所の急傾斜地崩壊防止工事を要望するもの
12	幹線道路の整備について	県土整備部	交通混雑解消を図るため、築瀬立体、宇都宮鹿沼線など幹線道路の早期完成及び早期整備を要望するもの
13	地域高規格道路の整備について	県土整備部	広域的な幹線道路のネットワークの形成を図るうえで重要な路線である、真岡宇都宮バイパスの早期完成及び早期整備を要望するもの
14	交通安全施設の整備について (歩道や自転車走行空間の整備)	県土整備部	円滑な交通の確保や通勤通学路の安全を確保するため、下岡本上三川線、西川田停車場線などにおける、歩道や自転車走行空間の早期完成及び早期整備を要望するもの